

カリキュラム(参考①)

建築施工系木造建築科の特徴

ポラスグループの強みである責任一貫施工を支える技能集団として、“現代の名工”を育成する環境を整備しています。安全・安心な住まいづくりを支えるため、伝統的な技術や知識にとどまらず、新しい技術や知識も積極的に取り入れて人材育成を行っています。

訓練内容

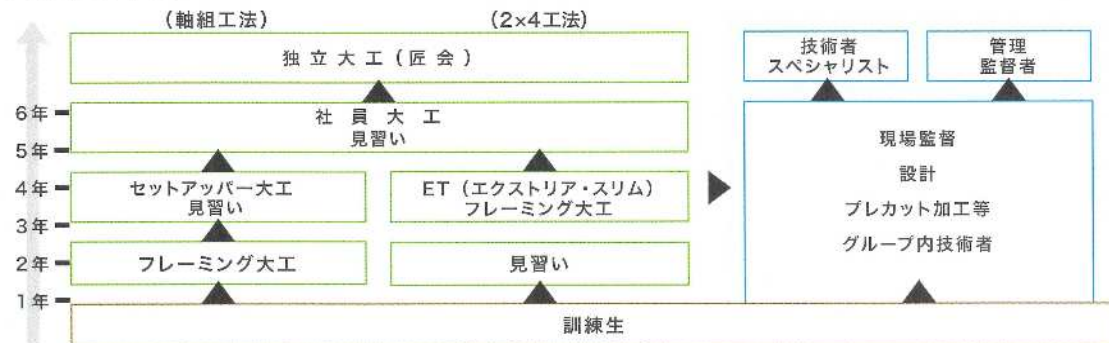
基礎学科		専攻学科			
教科の科目	科目内容	教科の科目	科目内容		
学 科	建築概論	建築の概論、建築物の種類、建築史	学 科	木質構造	在来軸組工法、枠組壁工法、和風造作、荷重と構造計画、木質構造用材料、木質構造の接合部
	建築生産概論	建築生産の歴史、建築生産の特徴、生産過程(工事契約まで、施工)等		木造建築施工法	施工計画、仮設工事、木造躯体工事、3階建て仕様
	建築計画概論	気候と建築、人体寸法と建築、生活様式と住宅、敷地と住宅等		木造建築材料	木材の加工材料、木質構造用金物他、屋根材、外壁材等
	建築構造概論	建築構造の種類と分類、木質構造、鉄筋コンクリート構造、プレハブ構造等		規矩術	さしがね使用法、勾配基本図(5/10勾配)、梓隅木、四方転び、振れ四方転び、振れ垂木小帯能
	建築製図	製図用具と材料、図法(平面・投影)製図規約、実施設計図の製図	実 技	工作法	図板、尺杖等の作成方法、構造材の墨付けと切組等
	構造力学概論	力のつりあい、建物に作用する荷重・外力、建築構造とその表示等		工作実習	技能五輪課題、彩の国技能展作品、ものづくりフェア出品作品等
	関係法規	建築制限、建ぺい率、道路、高さ制限、容積制限、防火規定、耐火建築物、設備規定、その他一般規定(建築基準法・建設業法・建築士法)等		木造建築施工実習	土台の据付、柱、小屋組み、筋交い、金物、床、足場 等の各施工実習
	安全衛生	産業安全と労働衛生、安全衛生管理の実態、具体的労働災害防止策等		器具使用法	手工具の手入れ(かんな、のみ、のこ)、電動工具の取扱い等
実 技	測量基本実習	巻尺による敷地測量、巻尺・器具の取扱、平板測量、水準測量等	そ の 他	その他学科	基本スキル、マナー、OC手法、茶道、日本文化(木遣り)他
	機械操作基本実習	電動工具の使い方、電動工具を使っでの実習等		その他実技	技能照査練習、技能五輪課題練習、他各実習の反復練習
	安全衛生作業法	装具および保護具、作業場の整理整頓、電気の取扱、手工具作業、機械作業、足場作業等			

卒業後の進路

卒業後は、主に社員大工としてポラスの建設現場で勤務していただきます。その他にも現場の経験を生かして設計・監理や工場でのプレカット、またグループ内のさまざまな部門でも能力を発揮する機会があります。

大工として研鑽を続け世界を目指す、大工としての知識をベースに新たなフィールドに挑戦する、より暮らしやすい家づくりを追求する——卒業生たちはグループ内で活躍するにとどまらず、日本の建築業界を担う存在となるべく挑戦を続けています。

■キャリアプラン



卒業後、取得推奨している主な資格

技能士補(建築大工) / 一・二級技能士(建築大工) / 木造建築物の組立等作業主任者、指導員免許 / 足場組立等作業主任者 / 一・二級建築士(実務経験3年短縮該当校) / フォークリフト運転技能 / 簿記 / 宅地建物取引士 / 衛生管理者 / 指導員(建築大工) 免許 / 福祉住環境コーディネーター2・3級等、多数

※訓練校卒業者は、二級建築士受験資格(実務経験分)が、1年短縮されます。

カリキュラム(参考②)

建築内装系インテリアサービス科の特徴

一般的に「インテリア」というと家具やカーテンなどがイメージされますが、住宅業界でいう「インテリア」は、屋内の電気配線や天井のクロス張り、建具など内装全般を意味します。「内装仕上げ」とも呼ばれるこれらの作業には、幅広い知識と技術が必要となり、それぞれの仕事に「技能士」という専門資格も設けられています。本科では、それぞれの技術について基礎から丁寧に指導をします。教室に座って学習するだけでなく、実際の現場で実践的な指導を受けることでしっかりとした技術・技能を体得し、将来的には住宅を施工する技術者として多様な技術を習得した「多能工」として活躍できる人材を輩出していきます。

訓練内容

		教科の科目	科目内容
基礎 学科	学科	建築概論	建築の概論、建築物の種類、建築史
		建築生産概論	建築生産の歴史、建築生産の特質、生産過程、現在の建築生産、工程管理、品質管理等
		建築構造概論	建築構造の種類と分類、木質構造、鉄筋コンクリート構造
		建築製図	製図用具と材料、図法(平面・投影)製図規約、実施設計図の製図
		室内装飾概論	照明商品、プラン作成、カーテン
		関係法規	法律用語の読み方と用語定義、建築制限、建ぺい率、道路、高さ制限、容積制限、防火規定、耐火建築物等
		安全衛生	装具および保護具、危険予知トレーニング
	実技	測定基本実習	巻尺による敷地測量、器械・器具の取扱、水平測量の方法、平板測量
		機械操作基本実習	電動工具の使い方、手入れの仕方、電動工具を使つての実習
		安全衛生作業法	作業場の整理整頓、電気の取扱、手工具作業、機械作業、高所作業、新規入場者教育、職長教育、応急訓練
製図基本実習		平面図、断面図、立面図、設備図面	
専攻 学科	学科	インテリア計画	色彩、プラン作成、新築モデルハウス見学
		インテリア材料	カーテン、クロス、タイル、カーペット、照明、左官、塗装、防火壁紙、電気
		インテリア施工法	クロス、カーペット、クッションフロアなどの標準施工法
		仕様及び積算	仕様書、積算
	実技	インテリア製図実習	各種パース作成、各種施工図面の作成
		インテリア施工実習	クロス、CF
		器具使用法	クロス施工工具、クロス裁断機、電気施工工具
その他	学科	その他学科	第二種電気工事士相当の知識、基本スキル、マナー、QC手法、日本文化
	実技	その他実技	電気屋内配線、クロス張り施工、技能照査課題、卒業制作、安全運転他

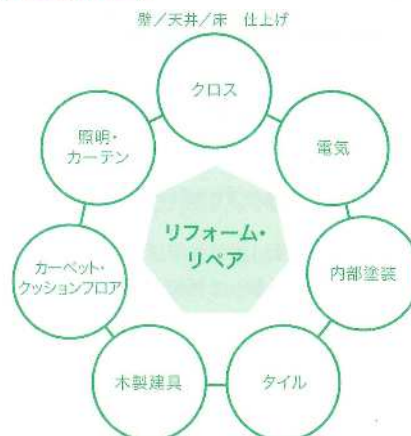
卒業後の進路

高い「内装施工技術」を持った技術者として、主にボラスの建設現場で勤務いただきます。電気工事士、内装仕上げ技能士をはじめとする資格を取得し、インテリアについて専門知識を生かした実際の施工を行います。

卒業後、取得推奨している主な資格

技能士補(内装仕上げ施工) / 一・二級技能士(内装仕上げ施工・表装) / 第二種電気工事士 / インテリアコーディネーター / 簿記 / 宅地建物取引士 / 衛生管理者 / 福祉住環境コーディネーター2・3級 / 一・二級建築士等、多数

多能工のイメージ



大工工事区分(参考)

■フレイマー

上棟作業

梁や柱、小屋組み、屋根下地など、主に構造耐力上主要な部分(筋交いを除く)の組み立てや、金物の取り付けを行う。



■セットアッパー

建物外部工事

- ・筋交い(躯体検査)
- ・間柱、窓台、まぐさの施工
- ・サッシ・シャッターの取り付け
- ・透湿防水シート(タイベック)貼り
- ・バルコニー下地、軒天・上げ裏の下地及びケイカル板貼り



■内部造作

建物内部工事

- ・断熱材施工
- ・フローター貼り
- ・梁や柱、土台などの主要構造部以外の壁や床階段、敷居、鴨居、窓枠、ドア枠などの施工
- ・腰壁やカウンターなど下地を材料から組み立て
- ・石膏ボード貼り(クロスの下地)
- ・これらの室内装飾の仕上げ(板張りなど)

